

マンモグラフィー検診を受けてから

早期発見が最上の予防策です。

BreastScreen Aotearoa (ニュージーランド乳がんスクリーニング)に参加いただきありがとうございました。この小冊子では今後のながれについてご説明します。

二人の放射線専門医(X線撮影の造影図を解釈する専門医)があなたのマンモグラフィー造影図を厳密に検査します。ほとんどの場合、マンモグラフィーで異常なしと診断されるでしょう。なお、過去に撮ったマンモグラフィーがある場合には、それと比較し、前回の検診時からの変化があるかどうかを調べます。

その後、結果が本人に通知されます。本人の同意があれば、かかりつけの医師に結果を送ることもできます。通常、結果は検診後2週間以内に郵送されます。この期間内に連絡が無い場合は、フリーダイヤル0800 270 200に問い合わせてください。

ほとんどの女性に異常なしに検査結果がでます。この場合は2年後に再度の検診に来るように勧められます。**このスクリーニングプログラムの効果を最大限に利用するには、2年毎の検診を受けることがたいへん重要です。**(その旨を通知する手紙が来ます。)これは2年毎のマンモグラフィー検診の間に起きた変化を発見し、早期治療に役立てるためです。早期治療は多くの場合に好結果を生みます。

もう一度査定のためにBreastScreen Aotearoaに来院するように言われる人もいることでしょう。これは詳細な検査を必要とする何かマンモグラフィー造影図に現れたためです。再訪が必要な場合には詳しいお知らせが送られます。再検査に訪れる女性のほとんどは**乳がんにかかっていない**と診断されます。

あなたの権利

医療サービスを受ける際、患者の権利は「The Code of Health and Disability Services Consumers' Rights」(医療と障害に関する消費者権利規約)によって守られています。またこのプログラムは「Health Information Privacy Code」(健康情報に関するプライバシー規約)の遵守が義務付けられています。検査の結果は直接本人に送られ、本人の同意があればかかりつけの医師にも送られます。検査記録と胸部X線写真は厳重に保管され秘密が守られます。

次の点にご留意ください:

- マンモグラフィー検診はがんの予防ではありません。病気を発見するためのものです。
- マンモグラフィーは検診時に存在するほとんどのがんを発見できますが、約10%のがんは見つかりません。

乳がんの兆候には次のようなものがあげられます:

- 新しいしこりや厚ぼったい部分
- 乳房の形や大きさの変化
- ふだんと違う乳房の痛み
- 皮膚のしわやへこみ
- 片方の乳首の変化、例えば:
 - 内側にくぼんだ乳首
 - しばらないのに出てくる分泌液
- 乳房だけにあらわれる湿疹や赤み

このような兆候は乳がんとは関係がないかも知れませんが、医師に確認してもらうべき兆候です。もし、今日のマンモグラフィー検診で痛みを伴った場合には、次回の検診の前に必ずBreastScreen Aotearoaの職員にその旨をお伝えください。それにより、次にはもっと快適に受けられるようにお手伝いします。

今日の検診に関するご意見をお聞かせください。そして知り合いの方々にこのプログラムを教えてあげてください。二年後にまたお目にかかりましょう。

最寄りのBreastScreen Aotearoaセンターへの連絡は、電話番号0800 270 200またはウェブサイト www.breastscreen.govt.nz へどうぞ。

診療の際に通訳を必要とされる方は事前にお知らせください。通訳者を手配いたします。